



東リ株式会社
証券コード:7971

●
●
●
●
人の集まる「場」に東リ。

株主・投資家のみなさまへ
第145期 第2四半期累計期間のご報告
(2008年4月1日～2008年9月30日)

TOLI REPORT

ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、 自然環境について考えること。

そこに集まる人に、毎日の生活を自由な色彩で描いてほしい。
快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、
東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。
人を包みこむ空間、自然、社会との関わりの中で、
大きな視点からインテリアを考えています。

株主・投資家のみなさまにはますます
ご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り、
まことに有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第145期上半期(2008
年4月1日～2008年9月30日)を終了
いたしましたので、当社グループの事業
の概況および決算の状況などをご報告
申し上げます。

人の集まる「場」に東リ。

Flooring

Wall

Curtain



東リコーポレートシンボル
「365日のビューティフル」

やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を、美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を、浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。

当社グループの経営の基本方針

当社グループは、経営理念として<インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する><顧客中心主義を行動規範とする><トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指す>の3つを掲げ、事業活動を行っております。『すべてはお客様のために』を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安や株価下落、原油および原材料価格高騰の影響による企業収益の悪化などにより、景気後退局面への懸念が一層強まることとなりました。インテリア業界におきましては、原材料コストが上昇を続ける中で、建設・不動産業での大型経営破綻が相次ぐなど、事業環境はさらに厳しさを増しました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「GROW UP 2008」の最終年度にあたり、生産効率化による原価低減や販売価格の是正をはじめとする諸施策を推進し、事業収益力の強化に徹底して取り組んでまいりましたが、結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間における売上高は44,419百万円、経常損失は441百万円、四半期純損失は494百万円となりました。

当期の中間配当につきましては、インテリア業界を取り巻く経営環境を鑑み、見送ることとさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、中期経営計画「GROW UP 2008」を策定し、重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進しております。当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力してまいります。中期経営計画を着実に推進することを通じ、原油価格高止まりに伴う主要原材料コストの上昇や競合激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靱な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

また、メーカーとして、「環境保全」や「安全品質」に対する取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。東りでは、人と地球にやさしい企業グループでありたい、という思いを2000年1月に「東り エコスピリット」というかたちにし、さまざまな側面から真剣に環境問題と向き合っておりまいた。本年8月、その「東り エコスピリット」を改訂し、低炭素化の推進をはじめとする地球環境保全への取り組みをさらに強化することとしております。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の研究開発に努めて皆さまにご提供していくことで、企業市民としての責任を果たし、「世の中から信頼され、期待される」企業グループであり続けるよう、努力してまいります。

当社グループは、会計をはじめとするあらゆる

業務の適正を確保することも重要な経営課題と認識しております。その一環として当社グループでは、2008年4月より適用が開始された金融商品取引法に対応した「財務報告に係る内部統制システム」を構築してまいりました。このシステムを確実に運用することで、当社グループが行なう財務報告の信頼性をこれまで以上に高め、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

柏原賢二

納入実績

エリア	物件名
北海道	野村不動産 札幌ビル
北海道	ルスツリゾートホテル ノースウィング棟
宮城県	東二番丁スクエア
新潟県	猫山宮尾病院
東京都	住友不動産飯田橋駅前ビル
埼玉県	イオンレイクタウン
愛知県	エアポートウォーク名古屋
愛知県	西尾市新庁舎
大阪府	近畿労働金庫新本店ビル
京都府	木津川市新庁舎
広島県	福山市中央図書館
香川県	イオン綾川ショッピングセンター
福岡県	福岡空港国内線ターミナルビル2Fゲート内
長崎県	みらい長崎ココウォーク

納入物件



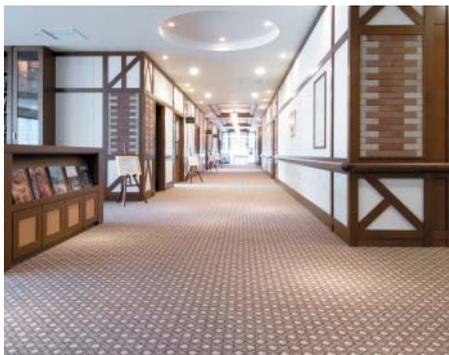
●MASA21
(岐阜県)

・フェイスールブルス



●ウインズ新横浜
(神奈川県)

・リノテスタ



●グッドタイム リビング 芝浦アイランド
(東京都)

・GF-2500

2008年度 グッドデザイン賞 受賞

東リ タイルカーペット「オフロケーションシステム」が、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2008年度グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞しました。

今回の審査におきましては「これまでに20年以上の実績を有し、他社品も含めてタイルカーペットをオフロケーションでメンテナンスするサービスとしては独特のシステムである。ビルオーナーにとってはトータルコストの低減につながり、利用者には常に快適性が確保され、管理者はメンテナンスが容易となる。さらには、生産から流通、販売、施工、メンテナンス、廃棄までを一貫して管理できるシステムであることから、無駄のない効率的で、環境にやさしい循環型の優れたビジネスモデルといえよう。」とのコメントをいただきました。

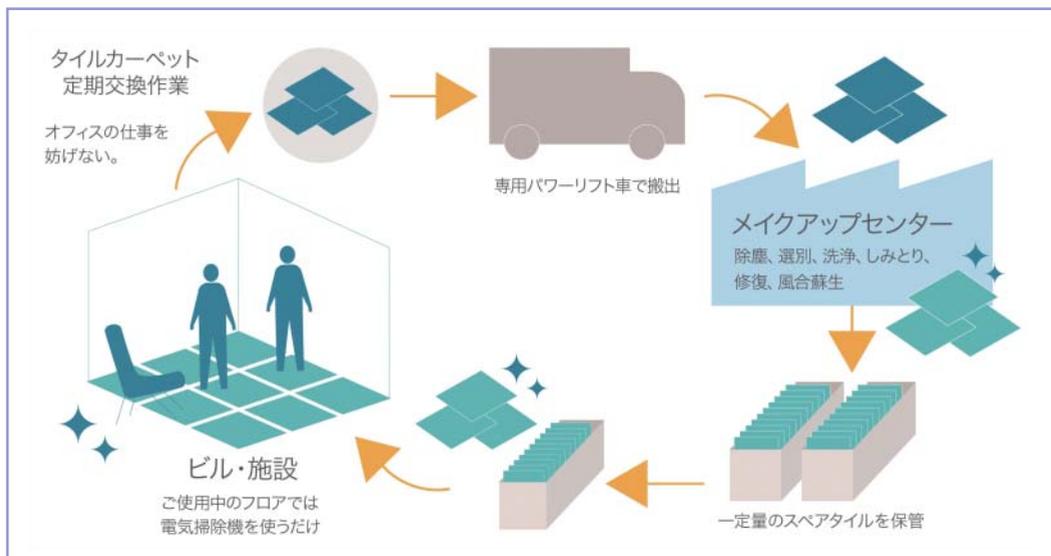
東リタイルカーペットとしては2005年度の「ソコイタリ」、2006年度の「MTEタイルカーペット」、2007年度の「VARYシリーズ」に続き4年連続でのグッドデザイン賞受賞となります。

【東リ タイルカーペット「オフロケーションシステム」の概要】

趣 旨：タイルカーペットの長寿命化とフロア全体の美観維持
システム：メイクアップセンター※1にて一定量のスベアタイルカーペット※2を保管しておき、予め計画されたローテーションに基づき交換、洗浄、保管を繰り返すシステムです。

※1 東リ厚木工場敷地内に設置。保管以外にも使用洗剤、洗浄、濯ぎ、脱水、乾燥に至るまで永年培ったノウハウを有しています。

※2 使用条件により異なりますが1,000㎡以上の使用面積にて10～30%必要です。



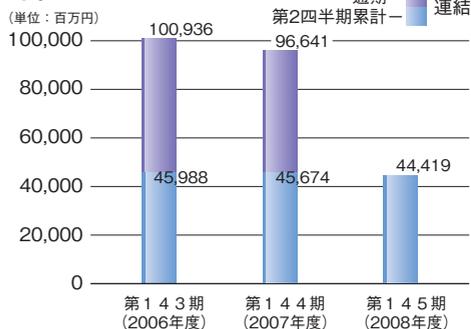
オフロケーションシステム概念図

業績推移

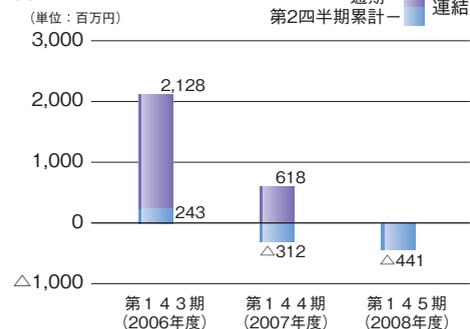
(単位：百万円)

連 結	第143期(2006年度)		第144期(2007年度)		第145期(2008年度)
	第2四半期累計期間	通 期	第2四半期累計期間	通 期	第2四半期累計期間
売上高	45,988	100,936	45,674	96,641	44,419
経常利益	243	2,128	△ 312	618	△ 441
四半期(当期)純利益	56	1,619	△ 276	152	△ 494
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	0.88	25.44	△ 4.35	2.40	△ 7.81
総資産	73,222	78,034	69,318	70,198	65,948
純資産	26,108	27,340	26,258	25,769	24,747
1株当たり純資産 (円)	405.69	428.12	405.49	402.76	386.65

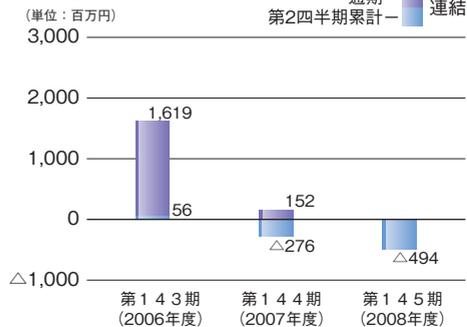
■ 売上高



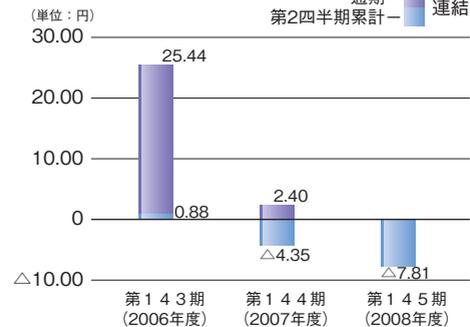
■ 経常利益



■ 四半期(当期)純利益



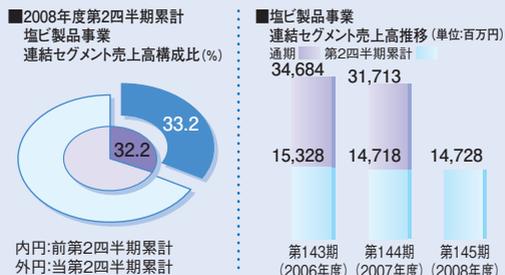
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



塩ビ製品事業

塩ビ製品事業につきましては、商業施設向けを中心にコンポジションタイトルの「フェイスールプラス」が大幅に売上を伸ばし、本年8月に発売したコンポジションタイトル「リフライブ」は従来にないストライプ調の洗練された意匠性が高く評価されております。また、工場や医療・福祉施設向けでは、耐薬品や制電、抗菌等の機能性を備えたシートの売上が拡大しました。そして、新たな市場開拓として賃貸住宅市場向けタイルを開発して拡販に努め、大きな成果を上げておりますが、汎用品の長尺シートやクッションフロアの売上は前年同期を下回りました。以上の結果、塩ビ製品事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は14,728百万円、営業利益は591百万円となりました。

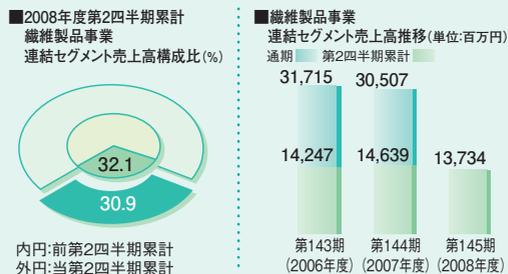
【塩ビ製品事業の連結売上高推移】



繊維製品事業

繊維製品事業につきましては、昨年からの住宅着工量の減少が影響し、住宅用ロールカーペットやカーテンの売上は前年同期を下回りました。タイルカーペットは、オフィスにおける需要が停滞し、売上はほぼ前年同期並みで推移しましたが、本年8月に中・高級グレードで意匠性の優れた「GXシリーズ」や異型サイズの「VARYシリーズ」といった付加価値の高い商品のラインナップを大幅に増強し、売上の拡大と収益性の向上を図っております。以上の結果、繊維製品事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は13,734百万円、営業損失は15百万円となりました。

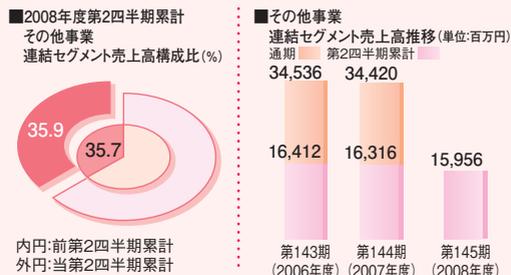
【繊維製品事業の連結売上高推移】



その他事業

その他事業につきましては、壁装材で、リアルな風合いが好評な木目調化粧仕上げ材「リアルデコ」が引き続き好調に推移し、また、本年6月に発売した「お薦めリフォーム壁紙2008-2011」は住宅リフォーム市場のニーズに適合して順調に売上を伸ばしました。しかしながら、建築着工量減少の影響から、販売子会社における工事や仕入商品の売上減少などもあり、その他事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は15,956百万円、営業損失は207百万円となりました。

【その他事業の連結売上高推移】



(なお、当社グループの業績は年度末竣工物件の受注等により下半期に偏る傾向があります。)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第144期 (2008年3月31日現在)	第145期第2四半期 連結会計期間末 (2008年9月30日現在)	科目	第144期 (2008年3月31日現在)	第145期第2四半期 連結会計期間末 (2008年9月30日現在)
流動資産	43,171	39,180	流動負債	30,428	25,577
現金及び預金	4,032	4,345	支払手形及び買掛金	24,992	22,245
受取手形及び売掛金	27,607	22,683	短期借入金	2,400	410
有価証券	763	662	未払法人税等	200	118
たな卸資産	9,272	—	未払費用	1,424	1,245
商品及び製品	—	6,727	賞与引当金	641	613
仕掛品	—	1,264	その他	769	945
原材料及び貯蔵品	—	1,562	固定負債	13,999	15,622
繰延税金資産	1,035	1,255	長期借入金	7,700	9,400
その他	666	865	退職給付引当金	4,409	4,250
貸倒引当金	△ 208	△ 187	役員退職慰労引当金	262	299
固定資産	27,027	26,767	その他	1,628	1,672
有形固定資産	18,031	18,150	負債合計	44,428	41,200
建物及び構築物	5,821	5,725	株主資本	24,268	23,328
機械装置及び運搬具	2,923	2,885	資本金	6,855	6,855
土地	8,728	8,728	資本剰余金	6,488	6,488
その他	557	810	利益剰余金	11,787	10,848
無形固定資産	1,337	1,164	自己株式	△ 863	△ 864
のれん	184	164	評価・換算差額等	1,259	1,175
ソフトウェア	1,088	900	その他有価証券評価差額金	1,241	1,156
その他	64	99	為替換算調整勘定	17	18
投資その他の資産	7,658	7,452	少数株主持分	241	243
投資有価証券	4,492	4,345	純資産合計	25,769	24,747
長期貸付金	298	276	負債及び純資産合計	70,198	65,948
繰延税金資産	1,115	1,142			
その他	2,207	2,227			
貸倒引当金	△ 455	△ 539			
資産合計	70,198	65,948			

注) 1.有形固定資産の減価償却累計額
2.受取手形割引高

32,910百万円
42百万円

33,360百万円
39百万円

四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間) (単位:百万円)

科目	第144期第2四半期 連結累計期間 (2007年4月1日～ 2007年9月30日)	第145期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日～ 2008年9月30日)
売上高	45,674	44,419
売上原価	33,966	33,396
売上総利益	11,708	11,023
販売費及び一般管理費	11,927	11,396
営業損失(△)	△ 219	△ 373
営業外収益	209	184
営業外費用	302	253
経常損失(△)	△ 312	△ 441
特別利益	26	9
特別損失	51	187
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 338	△ 620
法人税、住民税及び事業税	29	67
法人税等調整額	△ 72	△ 197
少数株主利益	△ 18	4
四半期純損失(△)	△ 276	△ 494

注)1株当たり四半期純損失(△) △ 4円35銭 △ 7円81銭

POINT 1

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末に比べ4,250百万円減少し、65,948百万円となりました。流動資産は、前期末に比べ3,990百万円減少し、39,180百万円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る傾向にあるため売上債権が減少したことによるものです。固定資産は、前期末に比べ259百万円減少し、26,767百万円となりました。この主な要因はソフトウェアの減少及び株価の影響による投資有価証券の減少等によるものです。

POINT 2

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末に比べ3,228百万円減少し41,200百万円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る影響を受けて仕入債務が減少したこと及び短期借入金が減少したこと等によるものです。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	第144期第2四半期 連結累計期間 (2007年4月1日～ 2007年9月30日)	第145期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日～ 2008年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383	1,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 513	△ 1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 866	△ 751
現金及び現金同等物の増加額	3	111
現金及び現金同等物の期首残高	4,398	4,783
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,404	4,895

POINT 3

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は24,747百万円となり、自己資本比率は37.2%となりました。

POINT 4

当第2四半期連結累計期間の売上高は、44,419百万円となりましたが、原油価格の高止まりによる原材料調達コスト増加が当社グループ損益に与える影響は大きく、441百万円の経常損失となりました。この結果、494百万円の四半期純損失となりました。

POINT 5

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、4,895百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動によるキャッシュ・フローは、1,876百万円となりました。これは、仕入債務の減少等はあったものの、売上債権の減少等がこれを上回ったことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,013百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動によるキャッシュ・フローは、△751百万円となりました。これは、配当金の支払いや短期借入金の減少等によるものです。

■ 当社の概要

(2008年9月30日現在)

創立 1919年(大正8年)12月1日
 資本金 6,855百万円
 従業員数 708名
 主な事業内容 ・塩ビ製品……塩ビタイル、塩ビシート
 ・繊維製品……カーペット、カーテン
 ・その他……壁装材、床材用接着剤などの
 インテリア製品の製造、販売

■ 本社および事業所

本社 兵庫県伊丹市東有岡5-125
 東京本部 東京都港区東新橋2-10-4
 工場 伊丹、厚木
 ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪
 営業所所在地 札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、
 横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、
 神戸、岡山、広島、高松、福岡、北九州、鹿児島

■ 役員

(2008年9月30日現在)

〈 取締役・監査役 〉 代表取締役社長 柏原 賢二
 専務取締役 藤田 佑治 *1
 専務取締役 尾田 正孝 *1
 常務取締役 吉森 忠重 *1
 取締役 大谷 正男 *1
 取締役 永嶋 元博 *1
 常勤監査役 福岡 隆志
 常勤監査役 隅田 勝之 *2
 監査役 堀村 不器雄 *2
 監査役 春名 一典 *2

〔注〕 *1印を付した5氏は、取締役と執行役員
 の兼務者であります。
 *2印を付した3氏は、会社法第2条第16
 号に定める社外監査役であります。

〈 執行役員 〉 執行役員 木寅 旦彦
 執行役員 山本 正人
 執行役員 浪花 芳法
 執行役員 武田 松利

● 株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
 (お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 0120-094-777(通話料無料)
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
 野村證券株式会社 全国本支店

【お知らせ】 ●株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
 0120-684-479(大阪証券代行部)
 ・ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/>

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス

<http://www.toli.co.jp>

※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

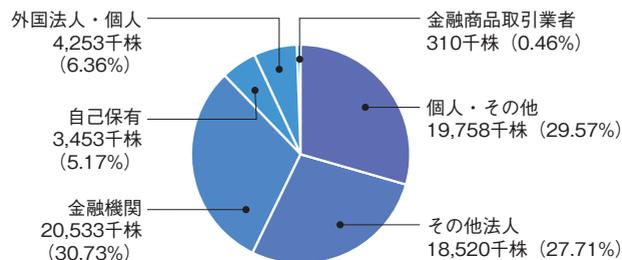
■株式数および株主数

(2008年9月30日現在)

・発行可能株式総数	141,603千株
・発行済株式総数	66,829千株
・株主数	6,643名
・1人当たりの平均持株数	10,060株

■株式分布状況

(2008年9月30日現在)



■大株主

(2008年9月30日現在)

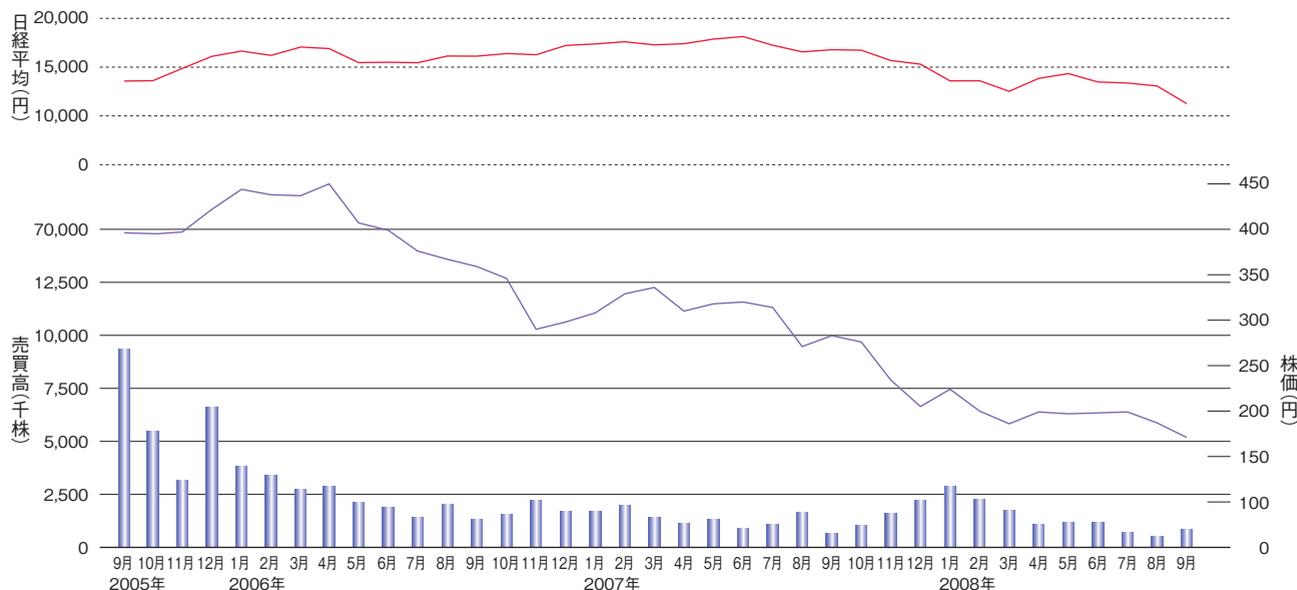
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	4,553	7.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,678	5.8
株式会社トクヤマ	2,780	4.3
双日株式会社	2,532	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.7
三信株式会社	1,730	2.7
日興シティ信託銀行株式会社	1,695	2.6
帝人テクノプロダクツ株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,266	1.9

* 当社の自己株式は、上表より除いております。

* 出資比率は、自己株式(3,453千株)を控除して計算しております。

■株価と売買高の推移(東京証券取引所)

■ 売買高(千株) ■ 株価(円) ■ 日経平均(円)



株券電子化実施に伴うお知らせ

1 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記帳

証券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(2009年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、2009年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関する手続き

特別口座に記録された株式に関する手続き(株主様の口座への振替請求・单元未満株式買取(買増)請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

2 株券電子化前後における单元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化の前後においては、单元未満株式買取請求および買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない单元未満株式に関するご請求

① 单元未満株式買取請求

2009年1月5日(月)から2009年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、2008年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、

(3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 ☎0120-094-777(通話料無料)

(4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、单元未満株式買取(買増)請求等の各種ご請求やお届出につきましては、2009年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを2009年1月30日(金)とさせていただきます。

② 单元未満株式買増請求

2008年12月12日(金)から2009年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

東リ株式会社 <http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。



TOLI ECO SPIRIT
東リ エコスピリット

この報告書は再生紙を使用しています。